

ここが私の *Another Sky*

大東消防署救助隊 消防士

河嶋 祥弘（平成26年入職）

憧れから目標へ

私の実家は消防署のすぐ近くにあり、幼い頃からよく母親に連れて行ってもらっていました。その頃から、トレーニングをしている姿や訓練をしている姿、また、いつ行っても優しく話しかけてくれる消防士を見て、かっこいい＝消防士という認識になっていました。幼い頃から抱いていた憧れは次第に目標に変わり、高校生になった時点では、絶対に消防士になろうと決心していました。私は地元が京都ですが、縁があり大東四條畷消防組合に就職しました。採用された大東市、四條畷市のこの地を第二の故郷として、恩返ししていこうと考えています。



熱い気持ちで

配属されて今一番感じることは、現場の過酷さ・厳しさです。日頃から毎日訓練を行っていますが、当然訓練と同じ現場は無く、思うような救助・消火ができる現場はありません。また、現場は緊迫感があり、早く救出しなければならぬ、早く消火しなければならぬと焦りがつき物です。しかし、焦っているようでは良い活動は決してできません。まだまだ未熟で経験も少ないですが、先輩職員に指導していただき冷静な判断力を、内には熱いハートを秘めた消防士になれるよう日々精進しています。

職場環境の充実

有事の際に現場へ出場する職員は24時間同じメンバーで働くため、職場環境、人間関係はとても大切です。大東四條畷消防組合は決して大きな組織とは



いえませんが、優しく、熱心に指導して下さる先輩職員が多く非常に働きやすい職場です。また、私のように大東市・四條畷市が地元ではない職員也大歓迎です。ぜひ皆さんも大東四條畷消防組合を受験し、一緒に市民の安心・安全を守っていきましょう。